

今後の協議会重点課題について

今後の協議会重点課題(総括)

今後の協議会重点課題(総括)

- 建設業における今後の担い手確保のため、建設キャリアアップシステムの登録及び活用を推進し、技能者の賃金上昇や退職金制度の適正な運用等を通じて、技能者の処遇改善につながる好循環を継続する必要がある。
また、建設キャリアアップシステムを活用した週休2日工事の達成状況の確認等、現場管理機能の面においてもより強化を図る必要がある。
- 一人親方が安心して働ける環境整備のために、適切な契約形態かどうかを判断する働き方自己診断チェックリストの活用を促進し、適切でない一人親方の目安についてより精緻な基準を設ける必要がある。
- 建退共制度について、掛金納付の状況が透明化され事務作業の負担を軽減できる電子申請方式及びCCUS連携の利用促進を図り、証紙貼付方式については適正な掛金納付を確保する必要がある。

取組内容

- ① 建設キャリアアップシステムの推進
- ② 建設業の一人親方対策の推進
- ③ 建退共・CCUS連携の利用促進

① 建設キャリアアップシステムの推進

建設キャリアアップシステムを通じて、**技能者が技能・経験に応じて適切に処遇され働き続けられる環境を実現し、建設業が「地域の守り手」として将来にわたり持続的な役割を担っていくために以下の取組を実施する。**

(1) 建設キャリアアップシステムの活用推進

⇒ 更なる登録者の増加に向けて、技能者が現場でCCUSを活用できるように**元請企業による環境整備を強化**する。

(2) 他制度との連携強化による機能の充実

⇒ **建退共の電子申請方式による掛金納付との連携**により、退職金充当の効率化を図る。

⇒ **公共工事における週休2日工事の達成状況の確認等、CCUSの現場管理機能の充実**を図る。

(3) CCUSを活用した技能者の処遇改善

⇒ **能力評価制度との連動**を通じて、**技能レベルを反映した手当支給を促進**することで、技能者の処遇改善を図る。

⇒ **技能者の賃金上昇につながる取組を推進**するため、**建設業界との連携を強める**。

② 一人親方対策の推進

建設業許可・更新の社会保険加入要件化等を契機とした、**技能者の一人親方（個人事業主）化を進める動きに注視し、技能者の処遇改善と法定福利費等を適正に負担する企業による公平・健全な競争環境の確保のため、以下の取組を実施する。**

（１）働き方自己診断チェックリストの活用促進

⇒ 一人親方の就労状況について、適切な請負契約となっているかどうかを判断するツールである「**働き方自己診断チェックリストのより一層の活用促進を図り**」、雇用契約が適切と考えられる一人親方を雇用契約へ誘導するよう働きかける。

（２）建設業の一人親方問題に関する検討会にて示された今後の方針に係る検討

⇒ 建設業の一人親方問題に関する検討会で今後の方針として示された「適正でない一人親方の目安」の策定について、実態を踏まえたものにするため、**一人親方の実態把握を強化する。**

③ 建退共・CCUS連携の利用促進

建退共・CCUS連携の利用を促進し、技能者の退職金掛金納付を効率化することにより、就労実績に応じた退職金の支払がなされるよう、以下の取組を実施する。

(1) 建退共・CCUS連携の利用促進

⇒ **建退共の掛金納付における電子申請方式及びCCUS連携について周知**し、利用の促進を図る。

(2) 公共工事における発注者による掛金納付の履行確認の徹底

⇒ 公共工事において、発注者により実施することとなっている、**建設事業者の掛金納付の履行確認を徹底し**証紙貼付方式並びに電子申請方式における適正な掛金納付を推進する。